

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: 神戸市立中央体育館 Gコート

試合区分: No. 434 少年女子 3回戦

期 日: 2006(H18)年10月3日(火)

主審: 谷地 温

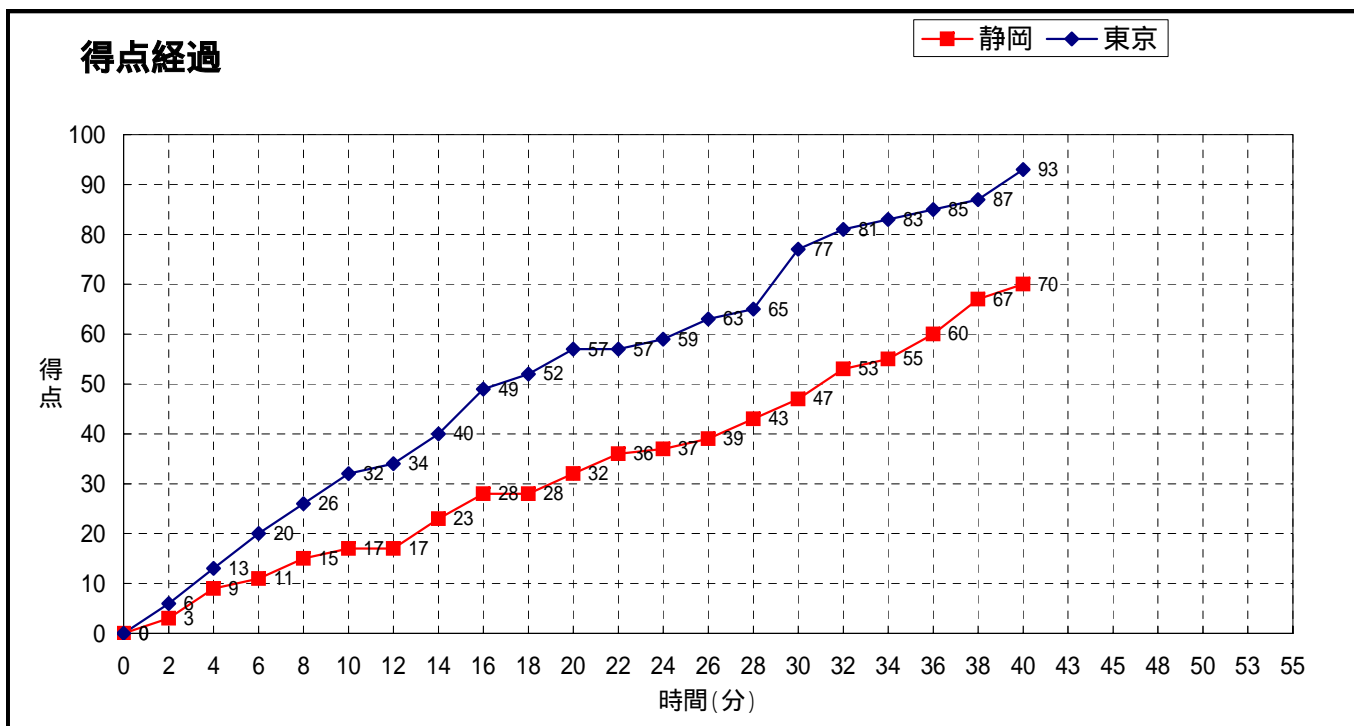
開始時間: 10:00

副審: 中村 基生

終了時間: 11:27

東京						静岡									
(関東)						(東海)									
93						70									
32 -st1- 17															
25 -2nd- 15															
20 -3rd- 15															
16 -4th- 23															
-OT1-															
-OT2-															
-OT3-															
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	有山 景子	6	1	1	1	2	4	*	田中 真樹	14	0	5	4	4
5	*	山田 菜美	5	0	1	3	0	5	*	川崎 若奈	6	0	2	2	4
6		飯野 菜季	12	0	5	2	0	6		菊地 有	-	-	-	-	-
7		鈴木 裕子	6	0	3	0	1	7		本間 香葉子	2	0	1	0	0
8		川村 美穂	4	0	2	0	1	8		栢沼 由佳	2	0	1	0	2
9		中島 ひろみ	0	0	0	0	1	9		楠 京子	13	0	5	3	5
10		大伴 菜奈	2	0	1	0	1	10	*	大内 知世	22	1	9	1	4
11	*	本田 雅衣	11	0	3	5	0	11	*	徐 ウェイヤオ	3	1	0	0	4
12	*	光山 慈能	15	0	5	5	0	12		小池 ひかる	4	0	1	2	1
13	*	天野 佳代子	17	0	5	7	3	13		佐藤 美鈴	-	-	-	-	-
14		清水 愛咲美	4	0	2	0	2	14	*	風間 緑	4	0	2	0	3
15		間宮 佑圭	11	0	4	3	3	15		西野 いずみ	-	-	-	-	-
コーチ		下坂 須美子						コーチ		小前 宏史					
合計			93	1	32	26	14	合計			70	2	26	12	27

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル



ゲームレポート

第1ピリオド、静岡はオールコートマンツーマンで東京にプレッシャーをかけ、ゲームの主導権をつかみにかかるが、東京は落ち着いて対応し、#13天野のポストプレーなどをうまく利用して得点していく。静岡はディフェンス意識が強すぎてファウルがかさみ、残り5分にはチームファウルが5つとなってしまふ。東京はファウルで得たフリースローを着実に沈めていき、このピリオドだけで13点をフリースローであげ、32-17の大差で第1ピリオドを終了した。

第2ピリオド開始30秒で静岡の大黒柱#11徐が4回目のファウルを宣告され、ベンチに下がる。さらに、アグレッシブな1on1でチームを引っ張っていた#4田中も4ファウルとなり、静岡は攻め手を失ってしまう。東京は静岡#11徐のいないゴール下を完全に支配し、#6飯野、#15間宮がオフェンスリバウンドを制し、ゴール下で着実に得点していく。静岡は#10大内がなんとか個人技でくらくらいつこうとするも単発におわり、東京は57-32の大差で前半を終えた。

第3ピリオド、東京は大量リードのためか集中力の欠いたプレーが目立つ。その際に静岡は3ガードとして積極的にトラップをしかけ、東京から幾度もボールを奪う。しかしディフェンスでは成功するものの、オフェンスでは東京の高さの前にシュートをはね返され、思うように点差は縮まらない。東京は静岡のディフェンスに苦しみながらもゴール下を守り切り、徐々にリズムを取り戻していく。東京は、終盤に#13天野のポストプレーなどによって連続得点し、結局77-47としてこのピリオドを終えた。

第4ピリオド、静岡は最後の猛攻をしかけ、#9楠が開始4分で9得点をあげる活躍を見せる。しかし、その#9楠もファウルアウトし、静岡は#4田中が孤軍奮闘するも、ゲーム前半でのファウルトラブルが尾を引き、点差を詰めることができない。逆に東京は主力を温存しながら、途中出場の#7鈴木や、#14清水ら交代選手の活躍もあり、余裕を持って勝利をおさめた。

担当者: 戸屋 龍介(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会